

交換留学帰国報告書

記入月日: 平成30年12月29日

氏名: 白川 咲香

留学時所属&学年: 国際地域学部 3年

留学先大学	マカオ大学
留学先国	マカオ
留学期間	2学期間
留学開始一終了日	2018年1月3日ー 2018年12月16日

報告書上での氏名公開について（どちらかに○をつけてください。）

帰国報告書：公開を 希望します ・ 希望しません

月例報告書：公開を 希望します ・ 希望しません

【留学前: 留学に至った経緯や留学準備について】

1. 交換留学を希望した動機について教えてください。

大学入学前から大学に入ったら長期留学をしたいと思っていたので、入学からずっと留学のために TOEFL や英語の勉強に力を入れてきました。また、私は福井出身で大学も福井、というずっと地元で過ごしてきたので、大学で県外に進学しない代わりに、福井以外の外の世界も経験し、福大で学べないことを学びたいと思い、国際地域学部の中でも留学が必須であるグローバルアプローチを選択しました。また、交換留学であれば留学しても単位交換制度により4年間で卒業でき、私費留学よりもお金がかからないので交換留学を希望しました。

2. 留学準備を始めた時期はいつ頃ですか。何から準備を始めたかについても教えてください。

2年生の8月下旬に留学申請を出し、9月中旬頃に決定し、留学先の大学などへの提出書類などに関する説明があったので留学計画書や CV、Personal Statement を準備し始めました。ビザは現地についてから申請するのでビザ関係の準備はありません。10月からは留学セミナーが始まり、マカオやマカオ大学について調べたり、保険の申し込みなどをしました。留学中に履修する科目の登録(プレ)は10月中旬ごろの締め切りだったのでそれまでに申請しました。航空券に関しては、留学先の大学から到着日時についての連絡があっただけで取れなかったのが11月くらいだったと思います。

3. 留学先を決めた経緯について教えてください。また、派遣先の大学や現地情報についてどのように情報収集を行いましたか。

留学先を決めるのに私はとても迷いました。魅力的な留学先はいくつもあったのですが、学びたかった経営学について学べ、開講されていて履修できる授業数が多く、大学の施設が充実していて綺麗か、治安が良い地域か、などを考慮して、ヨーロッパや3年秋出発でアメリカかイギリスも考えていましたが、マカオに決めました。中国語も履修していなかったし、アジア留学はあまり考えていなかったのですが、マカオはアジアに位置しながらポルトガルの文化も根付いており、アジアにいながらヨーロッパの雰囲気も味わえるのはいいなあと思いマカオ大学にしました。

派遣先の大学についてはマカオ大学のホームページを見たり、マカオ大学からの留学生に話を聞いたりしました。現地情報についてはガイドブックやネット、論文などを参考にしました。写真はマカオの世界遺産の様子です。



4. 留学に向けての語学試験対策、各種語学能力試験などの受験回数について教えてください。

留学申請する2年の夏までに TOEFL ITP は7回程受験しました。そのほかの語学試験は受験していません。

TOEFL 対策には、1年次の TOEFL 対策講座での参考書に加え、LDCにある赤い太い本で TOEFL によく出る文法問題や傾向などをつかむようにしていました。文法対策では「全問正解する TOEFL ITP TEST 文法対策」という有名な参考書を何回も解き、リーディング対策では1年次のリーディングの授業で使用した「Fusion Reading Plus」を使い、Advance レベルも購入し1テーマの時間を決めて毎日取り組みました。他には「TOEFL ITP テスト リーディングマスター」という6回分の模試が収録されている参考書も使用しました。また、「TOEFL TEST 必須英単語 5600」という参考書が速単のような構造で長文が掲載されている形式だったので、それを使いリーディング対策をしました。この参考書は少し難しいですが、専門用語が学科別に掲載されているため、アカデミックな単語対策として使っていました。単語対策は他にも定番の「TOEFL テスト英単語 3800」を使用しました。

5. 留学準備を進める際に役に立ったことについて教えてください。

(例: 助言教員、国際課、留学経験者からのアドバイス、大学情報ウェブ、留学オアシスなど)

国際課からのサポートや、留学セミナーを通して留学や、留学先についてより調査し深く考えられ、きちんと準備できたのはとても役立ちました。

6. 渡航前の履修登録や単位認定に関して、苦労したことやアドバイスはありますか。

【苦労したこと】

渡航前にプレ履修登録はあるのですが、実際に開講されている授業数よりかなり少なかったのと、登録して渡航後に確認すると履修の抽選が外れているものや、その授業が毎学期開講している授業ではないなど、プレ履修より実際に選べる授業の種類が圧倒的に多かったので、取りたい授業を考えるだけでもとても時間がかかりました。また、留学生が取れる授業には限りがあり、さらに人気の授業はセクションが多くあっても、定員に空きがなく履修できないものもありました。大学で開講されている授業全てが取れるわけじゃなかったため、渡航後に履修したい授業を開講している学部のオフィスに直接行って履修の手続きをしてもらったり、WEB上で自分で履修の追加や削除をして、結果を待ったりするのがとても大変でした。

【アドバイス】

WEB上で公開されている授業名やコース概要を渡航前にチェックして、取りたい授業が福大のどの授業に単位交換できそうかきちんと考えて、履修できなかった時に他にどの授業を履修するか予備で多めに考えておくと、渡航してからの履修期間が少し楽になるかとも思います。

【留学中: 大学生活や日常生活について】

A. 大学生活

1. 大学の校風や雰囲気はどうでしたか。

大学の施設はまだ新しいので全体的に整備されていて、広くて緑もあるし洗練されていると思います。マカオ大学は中国本土の領土にあり、本土とは壁でおおわれており、大学内から本土入国などはできませんが、マカオ半島などと海を隔てて離れていて独立しているので、落ち着いた雰囲気勉強しやすい環境かなと思います。大学の学生ポータルやWEBのサービスがとても充実していたり、学校側の制度が整えられていてとてもきちんとしていると感じました。

写真は大学内の様子です。



2. 大学構内の設備(ネット環境、学習支援、スポーツ施設等)について教えてください。

2004年に現在の新キャンパスになったばかりなのでどの施設も比較的新しく、設備は福井大学以上に充実していると思います。

【ネット環境】

学内は道路を歩いているとき以外は施設内は強い Wi-Fi が整備されていて、学籍番号とパスワードを入力すればどこでも使え、ゲスト用の Wi-Fi もあります。

【学習支援】

寮ごとに異なるが、私の寮にはフロアごとに学習できるスペースもあり、6階には24時間空いている自習室がありました。学内には12時まで空いている図書館や、24時間空いている主に自主学習やグループワークなどのできる建物があり、各学部の建物にもおしゃれな広い学習・交流スペースがあります。印刷機も24時間空いている建物や各学部の建物、寮にあり交通系 IC カードや学生証を使用し、有料ですが自由に使えます。

語学系の授業では TA が手厚いサポートしてくれました。

【スポーツ施設】

体育館にバスケ、バレーコート以外にバドミントンコートの部屋、スカッシュの部屋、プール(利用料必要)などがあります。外には観客席つきサッカー場や、学内に分散しているがテニスコート10面以上、バスケコート10面以上があり、誰でも利用できとても充実しています。各寮、体育館にはジムがあり無料で利用できます。また寮によりますが、バドミントン施設や卓球台がある寮もあります。

写真は図書館の外観(左)・内観(右)です。



3. 参加していたサークルや部活はありますか。部員の数や活動内容、イベントなどについて詳しく教えてください。

「一番会」という100人ほどが所属する、日本に興味がある人たちのサークルに一応所属していましたが、歓迎会以外ほとんど活動がありませんでした。また、「English Society」という英語関係のサークルのイベントにも参加したことはありますが、所属はしていません。

春からの留学生を募集するサークルはほぼなく、秋のみ募集があるサークルがほとんどですが、秋の募集期間にマカオにいなかったため他のサークルや部活には参加できませんでした。秋学期の履修期間のはじめにサークルや部活についての募集イベントがあります。

B. 授業や勉強

1. 留学先で履修した科目

1	<ul style="list-style-type: none">●科目名(担当教員名):Principles of Financial Accountings (Ms. Theresa Tchiang)●時間数/週(単位数):90分×2回(3単位)●クラスの学生数: 約 50名●授業内容・課題(予習・復習の方法等): 【内容】基本的な財務会計システムについて学ぶ。講義形式、ディスカッションはほぼなし。先生にほぼ毎回名簿順に当てられる。 【課題】チャプターごとに(2週間に1回ほど)オンライン課題あり。オンラインテストもそ
---	---

	<p>れぞれテスト前に 2 回ほどある。テストは中間・期末ともに選択問題と実践(記述)問題。</p> <p>【予習・復習】WEB 上で配布される PPT, 財務諸表、教科書、オンライン課題やテストを使い、会計方法を覚えた。</p>
2	<p>●科目名(担当教員名): Chinese for Non-Native Speakers I (Jianguo Shi)</p> <p>●時間数/週(単位数): 90 分×2 回(3 単位)</p> <p>●クラスの学生数: 約 20 名</p> <p>●授業内容・課題(予習・復習の方法等):</p> <p>【内容】中国語を学んだことない人向けの授業。発音方法や基本的な中国語を学ぶ。スピーキング中心。</p> <p>【課題】テキストの会話文をレコーディングを提出する課題が 3 回ほどと、テキストの会話文を授業内に暗唱する課題が 5 回ほど。中間テストなし、期末テストはペアと会話を作成して暗唱する。</p> <p>【予習・復習】教科書の会話文、単語を音読、暗記。</p>
3	<p>●科目名(担当教員名): Strategic Management for the Gaming and Hospitality Industries(Dr. It is Lo)</p> <p>●時間数/週(単位数): 90 分×2 回(3 単位)</p> <p>●クラスの学生数: 約 15 名</p> <p>●授業内容・課題(予習・復習の方法等):</p> <p>【内容】ホスピタリティー産業における企業の戦略についてケーススタディーを通して分析し、戦略管理方法を学ぶ。講義形式だがディスカッションやディベートが多い。</p> <p>【課題】グループワークとグループでのケーススタディーに関するグループプレゼン 1 回。テストは期末のみで全て記述問題。</p> <p>【予習・復習】WEB 上で配布される授業用 PPT、配布資料を読み込み、戦略管理ツールについて確実に使えるようにする。</p>
4	<p>●科目名(担当教員名): Management of International Trade (Shigemi Furuta, Ph.D)</p> <p>●時間数/週(単位数): 90 分×2 回(3 単位)</p> <p>●クラスの学生数: 約 20 名</p> <p>●授業内容・課題(予習・復習の方法等):</p> <p>【内容】国際貿易に関する理論や実践を各グループに与えられる課題のケーススタディーを通して学ぶ。講義形式、毎回全グループのレポートを口頭で発表して質疑応答。外部からのレクチャーも多い。</p> <p>【課題】毎回ケーススタディーのグループレポートあり、全体で各グループ計 15 個ずつほど。クイズ(個人提出レポート)2 回。テストは期末テストのみで全て記述問題。</p>

	<p>【予習・復習】配布 PPT、教科書を読み込み、わからないところはネットで調べる。</p>
5	<p>●科目名(担当教員名):Principles of Marketing(Dr. Isabel Fu)</p> <p>●時間数/週(単位数):90 分×2 回(3 単位)</p> <p>●クラスの学生数: 約 50 名</p> <p>●授業内容・課題(予習・復習の方法等):</p> <p>【内容】マーケティングの基本概念を学ぶ。講義形式、たまにディスカッション。</p> <p>【課題】期末前のグループプレゼンのみ。中間・期末テストは選択問題と記述問題。</p> <p>【予習・復習】WEB 上で配布される PPT を読み込む。わからないところはネットで調べる。</p>
6	<p>●科目名(担当教員名):Statistics and Data Analysis(Simon So)</p> <p>●時間数/週(単位数):90 分×2 回(3 単位)</p> <p>●クラスの学生数: 約 50 名</p> <p>●授業内容・課題(予習・復習の方法等):</p> <p>【内容】ビジネスにおける統計と確立の使用法を学ぶ。講義形式、ディスカッションはほぼないが、先生に当てられる。関数電卓必要。</p> <p>【課題】授業内クイズ 10 回程、教科書の問題のレポート 4 回ほど。中間テスト・期末テストは全て記述。(計算)</p> <p>【予習・復習】授業内容のプリント、プリントの練習問題、教科書の練習問題(課題)を使用。わからないところは教科書とネットで調べる。問題をたくさん解く。</p>
7	<p>●科目名(担当教員名):Chinese As a Second Language (Wang Mingyu)</p> <p>●時間数/週(単位数):90 分×2 回(3 単位)</p> <p>●クラスの学生数: 約 10 名</p> <p>●授業内容・課題(予習・復習の方法等):</p> <p>【内容】“Chinese for Non-Native Speakers I” の一つ上のレベルの授業。スピーキング中心の初級レベルの中国語学習。</p> <p>【課題】ペアで会話作成 3 回ほど、小テスト 7 回ほど。中間・期末テストはペアと作成した会話を行い、各個人で 10 個ほどの単語の発音のテスト</p> <p>【予習・復習】教科書の会話、単語を覚える。</p>
8	<p>●科目名(担当教員名):Introduction to Culture and Critical Communication (Ms. Florence Fok)</p> <p>●時間数/週(単位数):90 分×2 回(3 単位)</p> <p>●クラスの学生数: 約 50 名</p> <p>●授業内容・課題(予習・復習の方法等):</p> <p>【内容】コミュニケーションの基本概念や理論、国際的な文脈におけるメディアについて学ぶ。講義形式だがディスカッションも多い。</p>

	<p>【課題】中間前グループレポートと、期末前グループプレゼン 1 回とプレゼンのグループレポート。中間テストは選択問題と記述問題、期末テストは全て記述問題。</p> <p>【予習・復習】WEB で配布される授業用 PPT と文献資料を使用。全体で PPT5 つほど、文献資料 20 個ほど。</p>
9	<p>●科目名(担当教員名):Information Systems and Organisations (Dr Jimmy Lee)</p> <p>●時間数/週(単位数):90 分×2 回(3 単位)</p> <p>●クラスの学生数: 約 50 名</p> <p>●授業内容・課題(予習・復習の方法等):</p> <p>【内容】経営や組織の観点から情報システムについて学び、グローバルなビジネス環境における情報システムに関連する企業管理の方法を学ぶ。講義形式。ディスカッションはほぼない。</p> <p>【課題】中間前と期末前のグループレポート 2 回。中間テストは選択問題と記述問題、期末テストは全て選択問題。</p> <p>【予習・復習】WEB 上で配布される授業用 PPT を使用。教科書を買うよう言われるが、現地の人もほぼ買っておらず、授業でも使用せず、PPT で全て網羅されている。テストも全て PPT から出る。全体で PPT チャプター6 個分。</p>
10	<p>●科目名(担当教員名):広東語</p> <p>●時間数/週(単位数):120 分×1 回(単位外) 費用:200MOP</p> <p>●クラスの学生数: 約 20 名</p> <p>●授業内容・課題(予習・復習の方法等):</p> <p>【内容】マカオの公用語である広東語をスピーキング中心で学ぶ。教科書(プリント)ですすめる。</p> <p>【課題】最終クラスで 1 分間スピーチ、簡単なまとめの単語テスト。</p> <p>【予習・復習】習った単語やフレーズを実際に使ってみる。発音練習。</p>

2. 授業を受けるにあたって心掛けていたこと、努力や工夫をしたことはありますか。

専門用語やわからなかった単語はすぐ調べるようにしました。ディスカッションでは内容を理解していないと自信をもって発言できないので、学んだことは少しでもいいのですぐに復習するように心がけました。福大では授業を一緒に受けるのは同じ学部、同じ学年の人がほとんどなので授業内の知り合いは多く、一緒に勉強も頑張れますが、留学先では学生数や開講科目・セクションも多く、取る授業ごとに学部も系統もちがうので知り合いを作るのが大変でした。ディスカッションがほとんどない授業でも、課題やテスト勉強の時に同じ授業を取っている友達がいる方が、友達間でわからないところを質問したりできると思ったので、近くの人などに話しかけて友達を作るように努力しました。

3. 学習面で困ったことや、その解決方法について教えてください。

英語が中国語・広東語訛りの強い先生も多く、授業中に中国語を多く使う先生もまれにいますのでそのような先生の授業を取ってしまったときは大変でしたが、多くのセクションが開講されているため、自分に合う先生を選ぶことも可能です。

4. 授業スタイルはどのようなものでしたか(講義聴講、ディスカッション等)。また、それに対してどのような印象を持ちましたか。

基本的な内容のコースは講義聴講形式が多く、クラスの学生数も多く、ディスカッションが少ないものが多かったので、授業を通しての友達作りや交流は大変でした。その点では国際地域学部の授業の方が、先生の一方的な授業ではなくグループワークも多く毎回意見を述べる場があり、先生も親身に質問や相談に乗ってくれるので、学んだことが身につけやすいと思いました。発展的なコースはディスカッションが多く、グループワークも多かったので、友達もできやすかったなと思います。レポートもグループレポートが多かったので、知識を集結して作り上げたり、他のメンバーからのアドバイスをもらったり相互に手助けできてよかったです。

5. お薦めの教員や授業などがあれば教えてください。

【Management of International Trade】

日本人の先生で、以前 HKTDC(香港貿易発展局)で勤務されていて中国語・広東語・英語がペラペラの素晴らしい経歴をお持ちの先生です。ケーススタディーが多く、週に2回はグループミーティングをするほど忙しく、内容も難しいですが、学びがいがありました。外部の方のレクチャーなども多く、実際に有名企業の方が来られたり、中国・日本を中心に世界のビジネスについて学べるので、マカオで履修すべき授業だと思います。

【Strategic Management for the Gaming and Hospitality Industries】

授業の一貫でマカオ内のホテルの見学などもあり、グループワークの課題も柔軟で面白いものが多かったので、少し難しいですがおすすめです。

写真は(左) International Trade の先生とグループメンバーと、(右) Strategic Management のグループワークで作成したムーンランプです。



C. 居住環境や日常生活

1. 居住場所について教えてください。

形態	<input checked="" type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他()
部屋人数	(2)人部屋
寮・アパート名	Stanley Ho East Asia College (W13)
家賃に含まれた費用	<input checked="" type="checkbox"/> 光熱費 <input checked="" type="checkbox"/> 水道代 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット代 <input checked="" type="checkbox"/> 食費 <input type="checkbox"/> その他()
ネット環境	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
室内設備	<input checked="" type="checkbox"/> ベッド <input checked="" type="checkbox"/> 机 <input checked="" type="checkbox"/> 椅子 <input checked="" type="checkbox"/> クローゼット <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> テレビ <input type="checkbox"/> シャワー・浴室 <input type="checkbox"/> キッチン <input type="checkbox"/> 冷暖房機器 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (冷蔵庫、靴箱)
共用設備	(洗濯室、コンビニなど自由に記入してください。) 洗濯室、キッチン、トレーニングジム、コピー機、自習室、多目的ルーム

2. 大学、住居周辺の施設について教えてください。

(銀行、現地のスーパー、日本食レストランやスーパーの有無など)

学内に銀行・スーパー・郵便局・旅行代理店・日本食テイクアウト店・ハーゲンダッツ・タピオカ屋・パン屋などが入っているモールがあり、その他消防署・コンビニ(セブンイレブン、サークルK)・病院・レストラン 3 店ほど・カフェ・野菜バー・図書館・スポーツ施設があります。

3. 現地銀行開設の有無や、現金入手方法、クレジットカードの利用頻度などについて教えてください。また、留学費用や現地での支出の管理はどのようにしていましたか。

【銀行開設】

日本語学科で先生として授業をするインターン生はお給料のために銀行開設が必要ですが、(現地に大量の現金をそのまま持っていくつもの人は安全面で開設した方がいいかもしれませんが)他の留学生は開設する必要はないです。

【現金入手方法】

NEO MONEY という現地通貨を引き出すためのプリペイドカードを利用していました。同じような機能をもつカードにキャッシュパスポートもありますが、チャージ料がかかるので、私はネオマネーを選びました。中国・香港・マカオではユニオンペイ(銀聯)というカードブランドが主流なのでユニオンペイのネオマネーにしました。カード作成には時間がかかるので、留学前に余裕をもって作ることをお勧めします。他の留学生の中には、クレジットカードのキャッシング機能を利

用して現金を引き出している人もいましたが、キャッシング機能がついていないクレジットカードをもっていく人は現金入手方法をきちんと考えてから留学に出発した方がいいと思います。

【クレジットカード利用頻度】

現金だと ATM でおろしたり、日本でネオマネーに入金してもらったり、会計の際にもたもたしてしまうのが煩わしかったので、カードで払えるものはほとんどカードで払うようにしていました。その方が、カードのポイントもつき、現金管理も最小でいいので。ですが、割り勘の時や小さい店での食事や買い物の際は現金が必要なので、ある程度は現金が必要です。グループで食べに行くことが多かったので現金も結構使った気がします。

4. 渡航直後に必要だったものや、あって便利だったものを教えてください。また留学期間を通して、日本から持参すべきだったもの、持参しなくてもよかったと思うものはありますか。

【直後に必要】

- 寝具類(掛け布団、シーツ、枕)、
- コート(1 月下旬—2 月上旬のみ寒い)

【あって便利】

- アイマスク・耳栓(廊下からの光漏れや音漏れ対策、睡眠効率アップ)
- 大きめのバックパック(一時帰国や旅行時に預け入れ荷物なしの手荷物だけで飛行機を利用できる)
- 小さめのカバン(外出時や授業に行くときなど)
- クッション(読書時やパソコンで映画を見るときなどがあると便利だしほしいなあと留学中に思ったが買わなかった)
- 保冷・保温機能つき水筒
- マフラーやストールなど(ひざ掛けにも毛布にも使える)
- 卓上電気スタンド(机に電気がなく、部屋の電気のみでルームメイトと共同生活なので部屋で夜や早朝に勉強する際は必要。現地のメイソウなどで買えます。)

【持参すべき】

- 食べ物(味噌汁、ふりかけ、お茶漬け、インスタントスープなど簡単に調理できて栄養の取れるもの、カップ麺などは現地で日本製品も種類豊富)
- 枕(もし寝具にこだわりがあるなら)、
- 薬(薬局も町にたくさんあるが、日本の薬は割高だった。頭痛薬、整腸剤などは多めに必要、学内にも小さい診療所はある)
- 虫よけ対策(ムヒ、虫よけミスト、部屋用押すだけノーマツプレー)
- 証明写真多めに(ビザ、交通系 IC カード、国際学生証など作る際に必要、サイズは4×3などでよい)

【持参しなくてよい】

- 電子辞書(一応持参したが一回も使わなかった。全部パソコン、スマホで解決する)

- 化粧品関係の予備(シャンプー・リンス・ボディーソープ・洗顔料・化粧水・ボディーソープ・洗剤・日焼け止めなど。ドラッグストアやスーパーで日本・韓国製品の品ぞろえ豊富で何でも手に入る)
- 大量の服やカバン、靴(着るかも?は着ない、日常はほぼスニーカーしかはかない、部屋ではビーサン)
- 筆記用具の予備(日本製品はたくさん売っているし、ダイソーもあり。文具は学内のスーパーにも売っている)
- 原本が必要など、本当に必要なもの以外の書類は電子化してクラウドに保存するなどの方が、ものも増えないし、行き・帰りの重量も減るので出発前にきちんと整理して出発の方がいいと思います。

5. 留学にかかる必要経費について教えてください。(現地通貨=MOP)(例:USドル)

内容	金額	内容	金額
渡航費	5万円(往復)	食費	家賃に含む
保険代	20万円	家賃	13,700MOP×2
予防接種・ビザ代	なし	教科書代	713MOP
交際費(外食等)	3万円/1か月	その他	3万円/1か月

合計:約 120 万円

6. 文化・習慣の違いなどで気をつけていたことやアドバイス(服装・マナーなど)があれば教えてください。

現地の人はヒールをあまりはかないなあと思いました。夏も毎日スニーカーです。
現地の人のほうが露出が激しかったので、その点に関しては心配する必要はないと思います。

D. 健康管理

1. 周辺の病院や学内での医療サービスについて教えてください。

マカオには大きい病院が私立病院と公立病院の2つあります。
学内には医療施設がスポーツ施設の中にあります。

2. 留学中に通院や入院はしましたか。その際にかかった医療費はいくらでしたか。

なし
1回だけ学校の病院で受診しました。500円くらいだった気がします。

3. 渡航前に必要だった健康診断や予防接種、日本から持参した薬などはありますか。

英語で書かれた健康診断書と胸部 X 線検査が必要でした。

日本からは頭痛薬・整腸剤・風邪薬・持病の薬・ムヒ・オロナインなどを持参しました。

【留学後：成果や今後の進路について】

1. 交換留学の成果について教えてください。

留学前に設定した目標が達成できたか/留学先での学業や生活を通して学んだこと/留学前に期待した以上に達成できたこととその理由/留学中、特に努力したことや心掛けたこと/留学を終えて変わったことなど

留学前に設定した目標は、専門分野についての知識や言語運用能力を高め、何事にも自信をもって行えるようにする、失敗を経験することが主な目標でした。留学先での授業の履修や PBL などを通じて専門知識は深まり、世界中のいろいろな人とのコミュニケーションを通して言語運用能力、コミュニケーション力は高まりましたが、専門の人に比べたら専門知識は劣るし、ネイティブの方に比べたら言語運用能力は劣るとはっきり感じることも多く、もっと努力しないと「これはできます！」とはっきり言える自信はつかないなあと感じました。履修した授業もパーフェクトを目指してもっと熱心に勉強しなかったり、生活もより快適に過ごせるよう最大の努力をしなかったことが原因だと強く感じています。学業も留学先での生活も他人や環境の影響のせいではなく、全て自分自身がどれだけ頑張るかにかかっているということを身に染みて学んだので、何事も他人や環境のせいにせずにできる限りの最大の努力をしていきたいです。

留學生活を通して家族や友達のサポートの大きさを非常に感じました。暮らしやすくて快適な環境を作ってくれる家族や、勉強やいろいろな相談に乗ってくれて一緒に頑張れる友達がいることは当たり前ではないことを本当に感じました。食事や睡眠があまり十分にとれず、疲労がたまりストレスがかかる生活を続けていた留学中は、勉強以外にも身体にとっても悪影響を与えてしまい、健康に暮らせる環境を作ってくれている家族のありがたみを本当に実感しました。留学できたことや日々の生活についても家族やサポートしてくれる方々に感謝の気持ちを伝えるとともに、私自身も快適な生活づくりの手伝いを積極的にしていきたいと思います。また、体だけでなく心も健康じゃないと何事にも全力で取り組めないとひしひし感じたので、心身ともに本当に健康でいられるように努力したいと思います。

留学して、1年前までよりもはるかに多くの多様な考え方・価値観・文化を学び、実際に触れることで理解も深まり、自分自身の考え方・価値観も変化したと感じます。中国に対しても留学前はあまり良い印象は持ってなかったのですが、中国の特別行政地であるマカオに留学したことで、中国の方と接する機会も増え、中国について歴史的な面やビジネス関連を学ぶことで理解も深まり、そのような印象も変わりました。日本や福井についても外から見ることでわからないことや、日本人として(福井で暮らしていく)生きていく上で深まっていく考えがあるとわかり、より広い視野で日本・日本人・福井について考えることができるようになりました。実際に経験してみないとわからないことが本当にたくさんあるなと感じ、文面や世論に流されず、実

際に経験して意見を持つことが必要だと思いました。

留学したことや、留学中の生活、留学間の旅行などを通して行動力や自己管理能力は高まったと感じます。留学中は自分から積極的に行動しなければ友達もできないし、得るものもありません。また、起床・食事・睡眠・掃除・洗濯などありとあらゆる生活に関することは自分で管理しなければならず、重い荷物も自分ひとりで運ばなければいけません。私は実家で、それに地元福井で暮らしているので留学中の生活は今までと 180 度違う生活で、生活水準をキープするのに大変でしたが、自立した大人になるためのよい経験だったと思います。

2. 留学中に達成が出来なかったことやその理由、反省点があれば教えてください。

留学前に予定していた夏の短期留学(マカオ大学が行うもの)や留学中のインターンができませんでした。留学先を選ぶときにサマープログラムが充実していることも考慮してマカオ大学を選んだのですが、現地で実際に応募し結果通知を受け取るとリストに名前がなく、マカオ大学の留学担当の先生に聞くと、サマープログラムに留学生は参加できないと知りました。サマープログラムなどに参加しようと考えている人は実際に留学生でも参加できるのか調べる必要があると感じました。留学先では留学生は参加できず本科生しか参加できないものもいくつかあります。また、インターンは渡航前に少し考えていたのですが、費用や期間などを考慮して参加しませんでした。今思うとネットで調べればすぐに見つかるような有名なインターン以外にも、現地の人に聞いたりもっとよく調べたりして参加すればよかったなと思いました。

マカオの公用語である広東語の習得も思ったよりできませんでした。大学では秋学期にオプショナルな講座があり履修しましたが、渡航直後の春学期は開講されておらず、自分で少し勉強したものの、発音などが難しく納得いくまではできませんでした。渡航前に絶対に勉強していこうと思っていたのですが、忙しかったので結局できず渡航してしまったので、忙しくても留学先が決まった段階から現地語の勉強はある程度して、留学中ももっと熱心に取り組むべきだと感じました。

3. 今後の目標や挑戦したいこと、進路や就職活動について教えてください。

留学中に学んだことが確実に自分の能力になるように TOEIC や HSK、IT パスポートなどの検定や英語の勉強をすすめ、より専門的知識をつけたいです。また、海外での生活を通して感じたことを活かし卒業研究をすすめ、この 1 年間の留学経験を後輩や留学を考えている人・考えていない人にも伝えていき、残りの大学生活や大学卒業後も学部・大学・地域をより盛り上げていきたいです。進路は大学院や他の学校も考えたのですが、実際に社会に出て能力をいかし活躍してみたいとも思ったので、海外展開している企業を中心に福井で就職活動を進めています。

4. あなたの留学先へ交換留学を考える福井大学生へのメッセージをお願いします。

マカオ大学は大学側の制度もきちんとしていて、大学内の設備や大学周辺のお店なども非常に充実しているので、安全で生活しやすい環境が整っていると思います。アジア留学ではほとんどそうですが、留学生は勝手に振り分けられる寮に住まなければならない、ルームメイトも勝手



に決まり、居住に関しては選択の自由がないですが、その中でもやっていける強い人ならマカオ大学でも充実した留学生活が送れると思います。マカオという地は本当に小さいですが、観光都市なので夜でも一人で歩けるくらい安全で警備もしっかりしていて、交通機関や表記も整備されています。文化も東洋混合で世界遺産も多く国際的な街なので、カジノやIR、アジア経済、中国文化・ポルトガル文化に興味ある人、観光都市に留学してみたい人には良いと思います。

マカオのIRの様子です。